

## V99b マルチフーリエ天体干渉計による天体試験観測

大田 泉 (国立天文台)、服部 誠 (東北大天文)、高橋潤一 (東北大天文)、松尾宏 (国立天文台)

マルチフーリエ天体干渉計 (Multi-Fourier Transform interferometer; MuFT) は東北大天文と国立天文台開発センターとで共同開発を行っているミリ波サブミリ波帯のポロメータ干渉計である。これはポロメータを用いた開口合成型干渉計である。2005年3月に行われた試験観測によりこの装置を用いて初めての天体 (太陽) によるシグナル検出に成功した。今回はこの試験観測とデータ解析について報告する。

これまで、室内実験を重ね MuFT の実証および動作試験を進めてきた (2001年より2004年年会)。その後、試験観測実験の為に2005年1月、本装置を野辺山宇宙電波観測所の一角へ移設した (2005年春季年会×服部)。3月の試験観測では無事に太陽によるシグナルの検出に成功した。この観測結果を用いた本装置取得データの解析手法とその結果に付いて報告する。

また、本発表では移設前調整試験と観測を通じて得られた MuFT の基本性能についても報告する。